

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
経済学	219～	1年生・前期	2単位	選択	坂本 徹	
経済学 I	～218					
履修の前提条件	テキスト序章～3章までを通読して、マクロ経済学を学習する意義・経済活動水準を測るGDPのとらえ方・一国の経済の成長過程・現在の暮らしについて著者の見方と考え方に接しておいて欲しい。					
授業概要 (Course Outline)						
<p>経済学は歴史的にみると、当初は交換価値としての価格を研究対象とするミクロ経済学と、世界恐慌を境にインフレと失業の克服を目的として国民所得を研究対象としたマクロ経済学に大別できる。本講義では後者についてその仕組みと考え方を学習する。先ず一国の経済活動水準を測る世界共通の物差しである「国内総生産」について勉強する。次にその「国内総生産」が何によってもたらされているかを知り、我々の日常生活が過不足無い生産・分配・支出の上に成立している事実を確認する。</p>						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					○
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理能力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					○
	生涯学習力 Lifelong Learning					○
到達目標 (Objectives)						
GDPの計算と、その2017年度の額532兆円(実質)の構造を理解する事。						
事前学習の内容	授業の最後に、次回の予告をします。授業の中心となるポイントを2～3つのキーワードで提示しますから、これについて調べてください。					
事後学習の内容	授業の最初にその授業の中心となるポイントを2～3つのキーワードで提示しますから、そのキーワードを使って、まとめの短文を書くことを勧めます。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
テキストの通読、事前学習を通して自身の考えをまとめておいて下さい。それから生じる疑問点・意見は、できるだけその場で聞いて、理解を深める訓練を習慣付けて行きたい。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
授業中に生じた疑問点・意見は、できるだけその場で採り上げて行きます。その他については月曜の3・4時間目(12:50～16:00)をオフィスアワーとしていますので、この時間帯は事前連絡無しでお待ちしています。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
<p>経済学検定、ファイナンシャルプランナー、日商簿記検定などの外部試験を受験した者は成績評価の対象とします。</p> <p>ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。</p>						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	経済学の成り立ち		
第2回	マクロ経済学		
第3回	国民所得		
第4回	国内総生産		
第5回	経済成長		
第6回	潜在成長率		
第7回	経済成長率と景気		
第8回	成長要因		
第9回	有効需要の理論		
第10回	三面等価		
第11回	在庫調整		
第12回	投資		
第13回	景気変動		
第14回	変動要因		
第15回	まとめ		
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
明快マクロ経済学	荏開津 典生	日本評論社	ISBN4-535-55310-6
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
経済学入門	荒 憲治郎 その他著	有斐閣新書	ISBN4-641-09110-2
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
評価 = 受講姿勢 + 定期試験評価 3               :               7			